

孔子と『論語』(17回)

思想なき時代だからこそ「論語」に意味があります。
安岡先生の「論語」解説から“論語読みの論語知り”になります。
どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブは情報交換の場でもあります。
皆様のお越しをお待ちしています。

記

1. 日 時 : 平成 28 年 6 月 25 日 (土)
AM 9 時 30 分 ~12 時 00 分
2. 場 所 : 千葉生涯学習センター ☎043-207-5811
<交通案内>JR 千葉駅東口から 徒歩 8 分 駐車場有り
3. 会 費 : 1000 円
4. 演 題 : 孔子と『論語』 第 17 回 君 子 「安岡正篤」講和選集より

(1) 君子が居れば“何の陋かこれ有らん”

「子、九夷(きゅうい)に居らんと欲す。或る人曰く、陋(い)しきこと之を如何せん。
子曰く、君子之を居らば何の陋しきか之有らん。」 子罕(しかん) 第九

< 説明 >

先師が道の行われぬのを敷いて九夷の地に行って住みたいと言われたことがあった。或る人がそれを聞いて先師に言った。「野蛮なところでございますので、どうしてお住まいができませんようか」先師が言われた。「君子がそこに住めば、だんだん野蛮でなくなってゆくよ」

(2) 君子の三畏

「孔子曰く、君子に三畏有り、天命を畏れ、大人を畏れ、聖人の言を遅る。小人は天命を知らずして、畏れざるなり。大人に狎れ、聖人の言を侮る。」 季氏第十六

< 説明 >

「君子に三つの畏れがある。天命を畏れ、大人を畏れ、聖人のことばを畏れる。小人はこれに反し、天命を知らないのをそれを畏れない。大人になれなれしくし、聖人のことばをあなどる。」

(3) 君子に必須の条件

「孔子曰く、命を知らざれば、以って君子たること無きなり。礼を知ら坐れば、以って立つこと無きなり。言を知らざれば、以って人を知ること無きなり。」 堯曰(ぎょうえつ) 第二十

< 説明 >

「天命を知らなければ、君子たる資格がない」「礼を知らなければ世に立つことができない」「言葉を知らなければ、人を知ることができない」

千葉木鶏クラブ 代表兼事務局 丸島 忠夫

Email : marushima_t@snow.plala.or.jp Tel : 0475-25-1211 Fax:0475-38-5153

第 17 回 君 子

「安岡正篤」講話選集『孔子と論語』より(1)

君子が居れば“何の陋かこれ有らん” 孔子の文明観

子、九夷(きゅうい)に居らんと欲す。或る人曰く、陋(いや)しきこと之を如何せん。

子曰く、君子之を居らば何の陋しきか之有らん。

子罕(しかん) 第九

< 説明 >

先師が道の行われぬのを敷いて九夷の地に行って住みたいと言われたことがあった。或る人がそれを聞いて先師に言った。「野蛮なところでございますので、どうしてお住まいができませんか」

先師が言われた。「君子がそこに住めば、だんだん野蛮でなくなってゆくよ」

(2) 君子の三畏 天命、大人、聖人の言

孔子曰く、君子に三畏有り、天命を畏れ、大人を畏れ、聖人の言を遅る。小人は天命を知らずして、畏れざるなり。大人に狎れ、聖人の言を侮る。 季氏第十六

< 説明 >

先師が言われた

「君子に三つの畏れがある。天命を畏れ、大人を畏れ、聖人のことばを畏れる。

小人はこれに反し、天命を知らないのだからそれを畏れない。

大人になれなれしくし、聖人のことばをあなどる。

(3) 君子に必須の条件 命と礼と言

孔子曰く、命を知らざれば、以って君子たること無きなり。礼を知らざれば、以って立つこと無きなり。言を知らざれば、以って人を知ること無きなり。

堯曰(ぎょうえつ) 第二十

< 説明 >

先師が言われた。

「天命を知らなければ、君子たる資格がない」

「礼を知らなければ世に立つことができない」

「言葉を知らなければ、人を知ることができない」

責了 事務局